

体 育

対象クラス	1年男子	単位数	2
使用教科書	現代保健体育 改訂版 大修館書店		
使用副教材			
「 体育 」はこんな科目です。 運動実践を通して、身体の健全な発達を促し、運動能力や健康で安全な生活を営む態度を養うことを目的とする科目です。			
科目の到達目標（目標とする検定等） 各種目の運動の合理的な実践を通して、運動の技能を高め運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を養い、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を身に付けます。			

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、自ら進んで計画的に運動をしようとしているか。 公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに、健康・安全に留意して運動しようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の出欠席 学習活動への参加態度 行動観察(役割) 自己評価(グループノート等)
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 自己やグループの能力と特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> グループノート ・個人記録カード 行動観察(実技)
運動の技能	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めているか。 自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 技能テスト ゲーム分析 グループノート
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項・競技ルールや審判法を理解し、知識を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト(ルール等) 行動観察(実技) グループノート

学習計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのか）

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前 期 中 間	*体育の授業について	・オリエンテーション	・年間の学習内容等を理解する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 ・体育理論（随時実施） ・球技 バレーボール 【前期中間考査】 	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐし運動 ・体力を高める運動 グループ学習による ・個人的技能 ・集団的技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の様々な部位を動かすことで心地よさや楽しさを味わう。 ・自ら身体活動を創意工夫し自己に適した実践力を身に付ける。 ・種目の特性を理解し、自己やチームの能力を把握する。 ・ゲームを通して、バレーボールの楽しさを味わいながら個人やチームの課題を設定しその解決に向けて練習を工夫する。 ・個人やチームの能力に応じて作戦を立て持っている技能を最大限に発揮しゲームを行う。
前 期 期 末	<ul style="list-style-type: none"> ・球技 サッカー (剣道) 【前期末考査】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム ・審判法 グループ学習による ・個人的技能 ・集団的技能 ・ゲーム ・審判法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの企画や運営、審判を行う。 ・種目の特性を理解し、自己やチームの能力を把握する。 ・ゲームを通して、サッカーの楽しさを味わいながら個人やチームの課題を設定しその解決に向けて練習を工夫する。 ・個人やチームの能力に応じて作戦を立てもっている技能を最大限に発揮しゲームを行う。
後 期 中 間	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技 ハードル走 ・武道 剣道 (サッカー) 【後期中間考査】 	<ul style="list-style-type: none"> グループ学習による ・個人的技能 ・競技会 ・まとめ グループ学習による ・基本動作 ・対人的技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・競走種目の特性を理解し、自己の課題に適した課題を設定し、より高い技能を身に付け、記録向上を図る。 ・競技規則を十分理解し、互いに協力して競技会の企画や運営、審判を行う。 ・個人の能力に応じた対人技能を習得し、相手の動きに応じて相手を崩して打つ。 ・試合の企画や運営、審判を行う。 ・種目の特性を理解し、自己の能力を把握する。
後 期 期 末	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 縄跳び 【学年末考査】 	<ul style="list-style-type: none"> ・試合 ・審判法 ・個人的技能 ・競技会 ・発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくりに対する意欲や関心を高めるとともに、互いに協力して運動が出来るようになる。 ・多くの種目が連続し、リズムカルな運動をダイナミックに出来るようにする。 ・種目の特性を理解し、自己の能力に応じた目標を持ち、それを達成するよう努力する。
	*体育の授業を終えて	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習により何が学べたか総括する。 ・体育の授業が自分にとってどんな意味があったか総括する。 	